

令和7年度第4回文京区立中学校部活動地域展開に係る合同部活動検討ワーキング・グループ 記録の概要

日時：令和7年10月2日(水)14時30分から16時00分まで

場所：オンライン

○「文京区立中学校部活動地域移行実施計画2026（素案）」パブリックコメント（資料1）

【事務局からの説明】

- ・パブリックコメントの受付は8/1から9/1まで行い、9名17件のご意見をいただいた。
- ・今後の流れとしては、11月の教育委員会及び議会にて素案を修正した実施計画2026の確定版を報告し、年内に策定する予定。

【主な意見等】

- ・地域の方や保護者の期待も不安も感じ取れた。
- ・9番について。教員が地域クラブに勤務する場合の手当と、指導員の報酬との違いについて教えてほしい。
 - 確定ではないが、地域クラブ活動の運営は外部に委託する方針。兼業兼職を希望する教員については、委託事業者が手配する指導者と同じの単価となる想定。ただし、金額は委託業者が決めるので明確な金額は伝えられない。
 - 部活動によって金額が変わるということか。
 - 部活動ごとではなく委託する事業者によって変わる。競技人口や指導者の集まり具合などで差が出ることはあるかと思う。
- ・一つの現場で指導員1人は難しいと思うが、指導員は何名程度確保する予定なのか？
 - メインとなる指導者1名とサブの指導者1名の2名体制を基本とする予定。配慮が必要な生徒が在籍する場合などは、さらに1名のサポーターを追加する場合も想定している。
- ・指導員をどうやって集めるのか？どれくらい人が集まるのか、集まらなかったときはどうするのか。逆に、希望が多かった場合の選定方法を教えてほしい。
 - 複数の事業者に話を聞いているが、基本的に指導者が確保できないことはないと言っている。一つの種目に対して複数の教員が兼職兼業を希望者した場合については今後の検討事項。
- ・人数の関係で希望の部活ができなかった生徒もいるので7番に同意する。9番の手当については校内でも話題になっている。

○令和8年度休日の活動の仕方の決定までの流れ（資料2）

【事務局からの説明】

- ・休日の地域クラブ活動についての生徒への説明、生徒の意向に関する調査、地域クラブ活動への参加申込等をどのような順番で行うかを示したもの。2案ある。
- ・第1案について。
 - ①令和7年度中に休日における部活動の地域展開について説明する。対象は現中1及び小6を想定。
 - ②令和8年度すぐに、新中1及び中2を対象とする休日の地域クラブ活動への参加に関する意向調査を行う。内容は、地域クラブ活動への参加を希望するか、希望する場合はどの種目がよい

かを問うもの。

③意向調査の結果を踏まえた部ごとのミーティング等を実施。調査の結果を踏まえた部の方針の共通理解を図る必要があると考えている。

④申し込み。

・第2案について。

第1案との相違点は、令和7年度中に運動部活動地域展開調査があること。

令和7年度中に、部ごとに令和8年度2学期からの休日の活動方法に関する意向を決めていただく。部活動を行うのか、それとも休日の部活動は行わずに地域クラブ活動に参加することとするか。令和8年度の流れは、第1案と同じ。

・外部委託する事業者との契約の関係で、拠点校をこの年末年始には決める必要がある。

【主な意見等】

・生徒の意向調査は部活ごとか。

-R7年度の調査は予備調査。R8年度の意向調査とは別。2段階ある。

・学校と生徒で、「地域クラブ活動でやりたい/やりたくない」が異なる場合はどうなるか。

-部としての在り方は決めておく。参加するかしないかは生徒本人の意思。第1案については、一人でも部活動に参加希望の生徒がいた場合は部活動を実施することとなる。

・学校の体制的には第2案の方が良い。学校は来年度の土日をどうするか決めてから部活動指導員に伝えることを想定している。

・第2案のデメリットが気になる。次年度に誰が顧問に就くか不明のなかで決めるためトラブルにならないか心配。しかし、早めにやった方がいいと思うので第2案を支持。第1案もそうだが、部としての意向が決まったあとに保護者に説明を丁寧に行う必要がある。

・第2案を支持。学校選択の段階では、学校がどれを選択しているか不明の状態のため、新1年生には説明が必要。学校と個人の選択に相違があった場合、団体種目では指導が難しいと思う。

・スケジュール的には第2案でないと厳しいと思うが、この数か月間で実施できるのか懸念。

・第2案のデメリット（顧問の部分）が引っかかる。部活動を希望してない教員が、部活動を実施すると決めた学校に新しく着任した場合、働き方改革として機能するか心配。

・校内の教員に来年度の顧問につくか聞いたところ、半数以上は「やりたくない」だった。逆にいうと半数以下は「やりたい」。来年度のことは来年度になってみないと分からないが、学校説明会では部活動について説明が必要。文京区は6年生の半分強が私立や国立に進学するので、令和8年度に意向調査し、半年間で地域クラブを実施して環境を整えるのも良いと思う。

○オープンキャンパス等での部活動（地域クラブ活動）に関する説明における共通事項（資料3）

【事務局からの説明】

・前回のワーキング・グループで、学校説明会等において、部活動に関する説明を小学生やその保護者にする場合、各校で差が出ないように説明するための共通事項があるとよいというご意見を踏まえ作成したもの。

・今年の1月に、小中学校全学年の全家庭に「文京区立中学校部活動地域移行実施計画2026（素案）」をお知らせするためのチラシと通知文を配布済み。

【主な意見等】

- ・ 4（１）の※部分について、先に出た第一案及び第二案での意向調査等の結果を考慮し決定するということか。
 - お見込みのとおり。
- ・ オープンキャンパスにて各校で説明する必要があるか。
 - 部活動は学校を選択するうえで一つの要素となり得るので、ここまでのことは共通で説明してもらうことを考えている。
- ・ 説明するのは各校の校長か？
 - 説明の仕方については学校の判断。管理職でなければならないということはない。

○その他

- ・ 次回開催日程の確認
- ・ 今後の予定